



平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月13日

上場会社名 株式会社ワッツ 上場取引所 東
 コード番号 2735 URL http://www.watts-jp.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平岡 史生
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 森 秀人 TEL 06-4792-3280
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績（平成28年9月1日～平成28年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	11,609	2.5	235	57.5	258	63.2	218	96.1
28年8月期第1四半期	11,329	3.6	149	△61.0	158	△60.6	111	△63.8

(注) 包括利益 29年8月期第1四半期 166百万円 (258.0%) 28年8月期第1四半期 46百万円 (△86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	16.10	-
28年8月期第1四半期	8.21	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	19,388	9,229	47.8
28年8月期	18,485	9,265	50.1

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 9,262百万円 28年8月期 9,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	-	0.00	-	15.00	15.00
29年8月期	-	-	-	-	-
29年8月期（予想）	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年8月期の連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	23,500	2.6	605	3.2	590	0.8	385	10.9	28.42
通期	48,000	4.0	1,370	13.6	1,350	13.2	910	26.7	67.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期1Q	13,958,800株	28年8月期	13,958,800株
② 期末自己株式数	29年8月期1Q	410,874株	28年8月期	410,874株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期1Q	13,547,926株	28年8月期1Q	13,547,975株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替相場がマイナス金利政策導入後一気に円高ドル安局面に転じたものの、11月の米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受け、同国での財政出動と減税期待から円安ドル高に向かいました。この円安は輸出企業を中心に業績の上振れ効果が見込まれることから、国内株式市場は上昇に転じ、11月末時点で1万8千円台を回復して終了いたしました。しかしながら賃上げが税金や社会保険料の負担増と相殺される形で、家計部門での可処分所得の増加には繋がっていないことから、個人消費は依然として回復に力強さは見られませんでした。

このような環境のもと、100円ショップ「Watts（ワッツ）」「meets.（ミーツ）」「silk（シルク）」等を展開する当社グループは、引き続きビジネスモデルの再構築の更なる推進に取り組んでおります。

これは、実生活雑貨を中心にお買い得感のある商品群をプライベートブランド「ワッツセレクト」として開発・販売し、店舗においてはローコストでの出退店とローコスト・オペレーションを継続することで、お客様満足度の向上と店舗収益確保を両立させるという、従来培ってきたノウハウは活かしながらも、多様化する顧客ニーズに応えるために新たなブランド価値を創造すべく、店舗パッケージや商品構成、POSシステムや発注支援システムの導入等のハード面、並びに店舗運営、従業員教育等のソフト面の双方を全面的に見直す取組みであります。

当該取組みによる新たな100円ショップ「Watts」「Watts with」は、新規出店と既存店改装によって着々と増えており、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、合わせて165店舗となっております。

当社の基幹事業である国内100円ショップ事業におきましては、売上規模の小さな店舗が多い傾向は継続しているものの、通期計画の97店舗に対して38店舗の出店を行いました。一方で不採算店舗の整理や母店閉鎖等による退店が14店舗（うちFC1店舗）あり、当第1四半期連結会計期間末店舗数は、直営が1,006店舗（25店舗純増）、FCその他が46店舗（1店舗純減）の計1,052店舗となりました。

国内その他事業につきましては、ナチュラル雑貨の「Buona Vita（ブオーナ・ヴィータ）」は直営を2店舗出店し、23店舗（うちFC1店舗）となりました。生鮮スーパーとのコラボである「バリュー100」は、店舗数の増減はなく1店舗のままとりました。

また、前連結会計年度に合弁会社を設立したデンマークのライフスタイル雑貨店「Sostrene Grene（ソストレーネ・グレーネ）」事業では、平成28年10月28日、東京都渋谷区に旗艦店となる一号店を出店いたしました。多くのお客様がご来店くださり、ショッピングをお楽しみいただいております。また、各種メディアに概ね好意的に取り上げていただきました。

海外事業につきましては、東南アジアを中心とした均一ショップ「KOMONOYA（こものや）」は、タイでは3店舗出店、1店舗退店して31店舗、ベトナムでは1店舗出店して11店舗、マレーシア及びペルーでは当第1四半期連結累計期間の出店はなく、それぞれ6店舗、5店舗のままとりました。中国での均一ショップ「小物家園（こものかえん）」は、代理商（中国式FC）を1店舗出店して計10店舗（うち代理商3店舗）となっており、日系百貨店などにおける催事販売も引き続き好調に推移しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,609百万円（前年同四半期比2.5%増）と小幅な伸びに留まったものの、売上総利益率が徐々に改善に向かっていること、Wattsブランド店舗の出店及び改装費用のコントロールが進んできたことなどにより、営業利益は235百万円（同57.5%増）、経常利益は258百万円（同63.2%増）と改善いたしました。また、連結子会社において固定資産の減損損失を計上した一方で、当第1四半期連結累計期間に実施した組織再編による法人税等調整額への影響等もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は218百万円（同96.1%増）となりました。

なお、当社グループの事業は、100円ショップの運営及びその付随業務の単一セグメントであるため、セグメントの記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,716百万円となり、前連結会計年度末に比べて808百万円増加いたしました。これは、商品及び製品が364百万円、現金及び預金が197百万円、受取手形及び売掛金が147百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は4,671百万円となり、前連結会計年度末に比べて93百万円増加いたしました。これは新規出店や既存店改装等に伴い、建物及び構築物が30百万円、工具、器具及び備品が8百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、19,388百万円となり、前連結会計年度末に比べて902百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は8,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ666百万円増加いたしました。これは、支払手形及び買掛金が352百万円、1年内返済予定の長期借入金が116百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は1,350百万円となり、前連結会計年度末に比べて272百万円増加いたしました。これは、長期借入金が増加したことなどによるものであります。なお、当第1四半期連結会計期間に当社の役員退職慰労金制度を廃止したことに伴い、役員退職慰労引当金のうち91百万円を長期未払金に振り替え、固定負債のその他に含めて表示しております。

この結果、負債合計は、10,159百万円となり、前連結会計年度末に比べて939百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,229百万円となり、前連結会計年度末に比べて36百万円減少いたしました。これは、利益剰余金が14百万円増加した一方で、前連結会計年度に合弁会社を設立したことにより新たに非支配株主持分△33百万円を計上したことなどによるものであります。この結果、自己資本比率は47.8%（前連結会計年度末は50.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成28年11月25日開催の第22回定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給を決議いたしました。これに伴い、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、打ち切り支給に伴う未払額91,401千円を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、一部の連結子会社につきましては引き続き役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を「役員退職慰労引当金」に計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,030,891	5,228,604
受取手形及び売掛金	2,163,014	2,310,625
商品及び製品	6,110,086	6,474,986
原材料及び貯蔵品	16,051	14,274
繰延税金資産	233,518	344,402
未収消費税等	59,654	63,735
その他	315,747	302,252
貸倒引当金	△20,761	△21,913
流動資産合計	13,908,203	14,716,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,208,130	1,271,093
減価償却累計額及び減損損失累計額	△689,032	△721,560
建物及び構築物 (純額)	519,098	549,532
車両運搬具	6,367	8,647
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,261	△3,464
車両運搬具 (純額)	3,105	5,183
工具、器具及び備品	2,969,309	3,022,445
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,327,769	△2,372,687
工具、器具及び備品 (純額)	641,539	649,757
土地	257,800	257,800
有形固定資産合計	1,421,544	1,462,273
無形固定資産		
その他	61,785	73,175
無形固定資産合計	61,785	73,175
投資その他の資産		
投資有価証券	314,993	322,468
繰延税金資産	122,882	134,961
差入保証金	2,539,244	2,544,496
その他	120,999	137,991
貸倒引当金	△3,662	△3,653
投資その他の資産合計	3,094,458	3,136,265
固定資産合計	4,577,788	4,671,714
資産合計	18,485,991	19,388,682

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,129,109	6,482,000
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	626,351	743,307
未払法人税等	185,424	162,429
未払消費税等	76,330	113,442
賞与引当金	158,113	24,119
その他	867,350	1,183,751
流動負債合計	8,142,679	8,809,050
固定負債		
長期借入金	534,903	784,946
退職給付に係る負債	169,913	172,194
役員退職慰労引当金	91,498	12,315
資産除去債務	83,800	94,864
その他	197,468	286,245
固定負債合計	1,077,583	1,350,565
負債合計	9,220,263	10,159,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,297	440,297
資本剰余金	1,583,816	1,583,816
利益剰余金	7,393,399	7,408,312
自己株式	△84,171	△84,171
株主資本合計	9,333,342	9,348,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,592	8,420
為替換算調整勘定	△73,205	△94,046
その他の包括利益累計額合計	△67,613	△85,625
非支配株主持分	—	△33,562
純資産合計	9,265,728	9,229,066
負債純資産合計	18,485,991	19,388,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	11,329,675	11,609,803
売上原価	7,133,160	7,221,228
売上総利益	4,196,514	4,388,575
販売費及び一般管理費	4,046,971	4,153,061
営業利益	149,543	235,514
営業外収益		
受取賃貸料	5,668	5,501
持分法による投資利益	3,986	5,444
為替差益	2,589	8,528
貸倒引当金戻入額	—	7,706
その他	4,412	4,298
営業外収益合計	16,657	31,480
営業外費用		
支払利息	1,287	1,254
退店違約金	—	4,344
賃貸収入原価	2,687	2,715
たな卸資産廃棄損	3,679	—
その他	411	647
営業外費用合計	8,065	8,961
経常利益	158,135	258,032
特別利益		
保険解約返戻金	—	372
受取補償金	14,908	—
固定資産売却益	734	—
特別利益合計	15,642	372
特別損失		
固定資産除却損	3,615	1,583
減損損失	1,060	36,020
特別損失合計	4,675	37,603
税金等調整前四半期純利益	169,102	220,802
法人税、住民税及び事業税	107,865	157,266
法人税等調整額	△50,001	△121,032
法人税等合計	57,864	36,233
四半期純利益	111,237	184,568
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△33,562
親会社株主に帰属する四半期純利益	111,237	218,131

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自平成27年9月1日 至平成27年11月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自平成28年9月1日 至平成28年11月30日）
四半期純利益	111,237	184,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,127	2,828
為替換算調整勘定	△42,531	△19,284
持分法適用会社に対する持分相当額	△26,308	△1,555
その他の包括利益合計	△64,712	△18,011
四半期包括利益	46,525	166,556
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,525	200,119
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△33,562

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。